

## 要約

美しい都市を目指す福岡市にとって、歩道上の変圧器は汚さ、野暮ったさ等から、明らかに都市景観を損ねているが、撤去が困難であることから、花壇の中に追いやられる等邪魔の存在となっている。そこで、変圧器のデザインによって、楽しさとともに都市景観の向上に寄与する変圧器に生まれ変わらせる。絵柄は、福岡市を代表する「博多祇園山笠」や「博多どんたく」の写真やイラストとし、対象は、福岡市の顔とも言うべき「天神（明治通り・渡辺通り）地区都市景観形成地区指定区域」とする。合成写真によりイメージを示す。



博多祇園山笠の写真



側面 市花



博多どんたくのイラスト



側面 市花

## 歩道上の変圧器をデザインの工夫によって都市景観の向上を図る

### 1. 背景と目的

益々厳しくなっていく国際的な都市間競争の中で、福岡市が真にアジアの交流拠点都市になっていくには、これからは、経済、文化、先進技術等のみならず、都市として美しいことが条件の一つとなっていくと思われる。

美しい都市を目指すには、広告看板のデザイン規制、電線地中化、建物デザイン、緑や花の演出、自転車の放置等、様々な要件が挙げられる。

その中で、歩道に設置されている変圧器は、極めて身近に目に触れるものでありながら、汚さ、野暮ったさ、邪魔くささが故に、明らかに都市景観を損ねている。特に、景観を向上させるはずの花壇の中に、当たり前のように花や緑と同居させているのは遺憾ともし難い。

これは、変圧器は歩道に設置せざるを得ない、邪魔にならない様に花壇の中へと追いやられていくのであろう。



東京 銀座 花壇に隣接して



福岡市 天神 花壇の中の変圧器

一番の解決策は、撤去することであり、新たな再開発地区では、最初から歩道に置かないよう工夫がなされている。事例を示す。



福岡 天神 変圧器が無い



東京 丸の内 変圧器が無い

しかし、既存の変圧器をこれから撤去するのは現実的ではない。ベターな案として、少しでも景観を損なわないようデザインを工夫するという方法がある。幾つかの事例を示す。



鎌倉 鳥のデザインの箱



倉敷 色合いに工夫



東京 吉祥寺 色合いに工夫

そこで、福岡市の最も人の多い通りの変圧器について、デザインの工夫によって景観向上を図ることを提案する。

## 2. 変圧器のデザインの配慮を行う場所

福岡市の顔ともいえるべき天神のメインストリートであり、又、都市景観形成地区に指定されている「天神（明治通り・渡辺通り）地区都市景観形成地区指定区域」を導入場所とする。図1を参照

## 3. 変圧器の仕上げ方法

方法としては、次の3つぐらいが考えられる

- ① 鎌倉倉の様に、デザインされた箱を被せる
- ② 直接、ペイントによりデザインする
- ③ デザインされた写真のシールを貼る。

①は、費用がかかること、又変圧器の形態が一律でないことから現実的でない。②は時間がかかるし、費用もかかる。③は比較的簡単と思われる。

以上から、絵柄の部分をシールとし、下地をペイントした上に貼り付ける方法を採用する。

## 4. デザインの絵柄

これは、なんと言っても、福岡を代表するイベント、博多祇園山笠と博多どんたくを絵柄に採用する。これに、福岡市の花「芙蓉」「山茶花」を組み合わせる・

変圧器は、道路側面、歩道側面、2側面の4つの面があるが、

- Aパターン 道路側面を博多祇園山笠、歩道側面を博多どんたく 側面は芙蓉、山茶花  
Bパターン 道路側面を博多どんたく、歩道側面を博多祇園山笠 側面は山茶花、芙蓉

A パターン (歩道から見る)



表面 歩道側 博多祇園山笠の写真



裏面 道路側 博多祇園山笠のイラスト (西島伊佐夫)



側面 芙蓉



側面 山茶花

B パターン (歩道から見る)



表面 歩道側 博多どんたくの写真



裏面 道路側 博多どんたくのイラスト (西島伊佐夫)



側面 芙蓉



側面 山茶花

事例 1



事例 2



事例 3



事例 4



図1 天神（明治通り・渡辺通り）地区都市景観形成地区指定区域

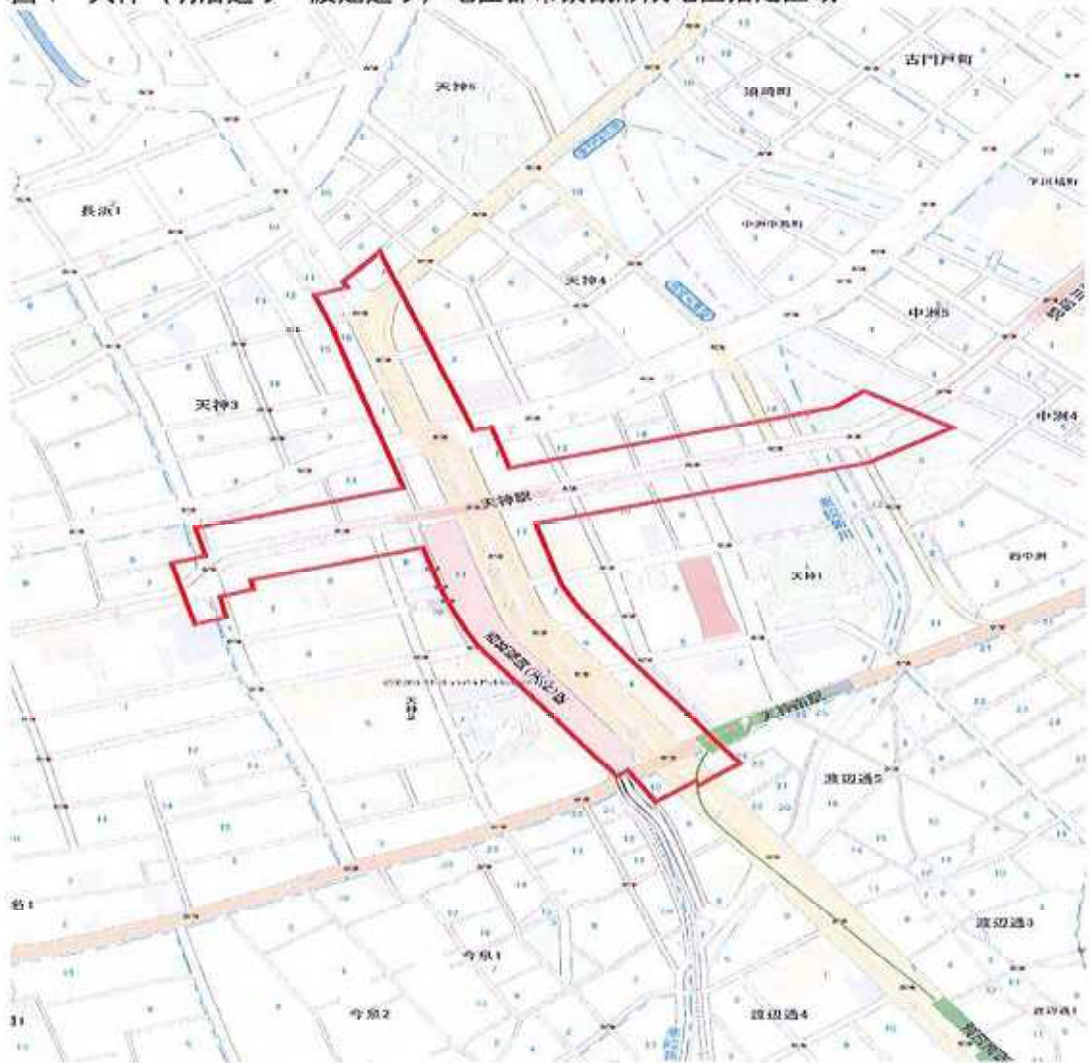


図2 配置の仕方

